題材系統表

題材は、五つの分野で構成され、活動のねらい、発想のきっかけ、使用する材料や用具などを考慮し、発達の段階とともに学びを深めることができるよう、系統的に配列されています。

造 ― 造形遊びをする活動
絵 ― 絵に表す活動
立 ― 立体に表す活動
工 ― 工作に表す活動
鑑 ― 鑑賞する活動
オ ― オリエンテーション
美 ― 教科書美術館
広 ― 広がる図工

表現の題材は鑑賞活動と適宜関連して学習できるよう、めあてを設定しています。

各用具アイコン：用具に出会い試したことをもとに活動する題材
― ICT 活用

▶つながる学び
触るなど行為性
アップサイクル
木材の加工
他者と喜びを分かち合う思い
特設ページとの関連性

	1・2 上	1・2 下	3・4 上	3・4 下	5・6 上	5・6 下
学年の始まりに適した授業びらき題材	幼児期の活動とのつながり オ ずがこうさくが はじまるよ 鑑 すきな かたちや いろ なあに 絵 どんどん かくのは たのしいな 立 ねんど でごちそう なに つくろう 工 ちょきちょき かざり 造 すなや つちと なかよし	オ もっと まるごと たのしもう 絵 きせつを かんじて	オ ためす 見つける 絵 かいて見つける わたしのすきなもの	鑑 見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ オ ためす 見つける	鑑 感じたことを伝え合う オ わたしとひびき合う	オ わたしとひびき合う 絵 絵の具スケッチ
造 場所から			造 ここがすみか	造 まどをのぞいて	造 あんなところが こんなところに 造 光と場所のハーモニー	造 自然を感じるすてきな場所で 造 糸から生まれるわたしの空間
造 材料から	造 カラフル いろみず 造 いっぱい つかって なに しよう	造 ひかりの プレゼント 造 だんボールに 入って みると!? 造 しんぶんしと なかよし	造 ひもでつないで	造 光とかげから生まれる形		
造 行為から	造 ならべて ならべて 造 ぺったん コロコロ	造 つないで つるして 美 からだで 見つける かたち・いろ	造 クミクミックス	造 組んで立ててつなぐんぐん 美 光から生まれる形・色	美 身近なものを見つめて	
絵 想像したことから	絵 せんの ぼうけん	絵 ふしぎな たまご	絵 立ち上がった絵のせかい	絵 まぼろしの花	絵 まだ見ぬ世界	絵 音の絵
絵 生活経験から	絵 せんせい あのね	絵 こんな こと あったよ	絵 あの日あの時の気もち	絵 わすれられない気持ち	絵 あの時あの場所 わたしの思い	絵 わたしの大切な風景
絵 物語などから	絵 おはなし だいすき	絵 おはなしから 生まれたよ	絵 ことばから思いうかべて	絵 言葉から感じて	絵 言葉から思いを広げて	絵 言葉から想像を広げて
絵 材料や用具から	絵 いろいろな かたちの かみに 絵 やぶいた かたちから うまれたよ	絵 とろとろえのぐで 絵 はさみの あーと	絵 絵のぐ＋水＋ふで＝いいかんじ! 絵 ぬのでえがくと	絵 絵の具でゆめもよう 絵 光のさしこむ絵	絵 心のもよう 絵 消してかく	絵 墨と水から広がる世界 絵 感じて 考えて
絵 版に表す	絵 うつした かたちから	絵 たのしくうつして	絵 いろいろうつして	絵 ほってすって見つけて	絵 ほり進めて刷り重ねて	絵 版で広がるわたしの思い
立 材料や用具から（粘土で）		立 にぎにぎ ねん土	立 切ってかき出しくっつけて	立 ねん土の板を立ち上げて	立 けずって見つけたいい形	立 固まった形から
立 想像したことから（粘土で）	立 いっしょに おさんぽ	立 おもいでを かたちに	立 ねん土マイタウン			立 水の流れ 水の形
立 想像したことから		立 ともだちハウス		立 ようこそ！ ゆめのまちへ	立 ミラクル！ ミラーワールド 立 のぞいてみると	立 未来のわたし
立 材料や用具から	立 はこで つくったよ	立 くしゃくしゃ ぎゅっ	立 だんボールの形をかえて 立 トントン どんどん くぎうって	立 のこぎりギコギコ	立 美しく立つはり金 立 糸のこスイスイ	
工 遊ぶもの・仕組みから	工 おって たてたら 工 いっしょに あそぼう ぱくぱっくん 工 スルスル ビューン 工 わくわく おはなし すごろく	工 まどを あけたら 工 音づくりフレンズ 工 とびだせ ぴょーん 工 どんな うごきに 見えるかな	工 うごいて楽しいわりピンワールド 工 マグネットマジック	工 コロコロガーレ 工 ゴムでゴー！ゴー！ゆめの乗り物	工 切り分けた形から何つくる？ 工 形に命をふきこんで	工 ここから見ると 工 くるくるクランク
工 飾る・使うもの	工 たいせつ ボックス	工 わっかで へんしん	工 これでかきたい 工 空きようきのへんしん 工 顔を出したら なんだかワクワク 広 みんなとつながる	工 きって楽しい きっと使える 工 おもしろだんボールボックス 広 すてられそうなものがよみがえる	工 紙から生まれるすてきな明かり 広 どんなことをどんな方法で	工 1まいの板から 工 使って楽しい焼き物 工 形の組み合わせで何できる？ 広 生活を豊かにする形
工 伝えるもの				工 幸せを運ぶカード	工 ICT でチャレンジ 工 笑顔が生まれるしかけ 工 ふれて伝えるストーリー	工 あったらいいなプロジェクト 広 平和を願って
鑑 身の回りのもの	鑑 さわりごごち はっけん 鑑 すきまちゃんの すきな すきま	鑑 であって 生まれる いろの せかい 鑑 でこぼこ はっけん！ 鑑 草花の おしゃべり	美 しぜんの色 鑑 土をかんじて 鑑 お気に入りの葉	鑑 写真をとったら見えてきた	鑑 水から発見 ここきれい！	
鑑 美術作品			鑑 絵を見て話そう	鑑 体でかんしょう 美 体の形		鑑 この筆あと、どんな空？ 鑑 もようから見つけて 美 受けつがれてきた形

題材別カリキュラム

各項目の説明

題材別カリキュラム表は以下の内容で構成されています。

各項目の名称	概要
学年	１・２上～５・６下まで、該当する巻を示しています。
ページ	教科書の掲載ページを示しています。
分野	㊟（造形遊びをする）、㊙（絵に表す）、㊝（立体に表す）、㊞（工作に表す）、㊟（鑑賞する）のいずれかで示しています。 表現の題材においては、原則としてすべて鑑賞する活動と関連する形で示しています。
系統	本冊子 p.2-3に示している系統を示しています。
題材名	教科書の題材名を示しています。教科書紙面において複数の展開例を示しているものは、展開例ごとに示しています。 例）１・２上　どんどん かくのは たのしいな ～すきな もの なあに～　～おひさま にこにこ～
時数	題材を実施する際の参考時数を示しています（１時間＝ 45 分）。この枠に収めなければいけないということではありません。学校や児童の実態に合わせてご検討ください。
育てたい子どもの姿	「学びに向かう力、人間性等」の個人内評価とする部分や、日本文教出版株式会社が教科書で大切にしていること（体感、自己肯定感の向上、多様性の理解　など）と関連させ、各題材を通して児童に感じたり考えたりしてほしいことを示しています。
題材の目標	各題材の目標を、学習指導要領解説に示されている指導する事項と「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所）に基づき、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の３観点で示しています。 **「知識及び技能」の示し方について** ・目標をより分かりやすく示すため、また〔共通事項〕（１）アを明確に示すため、「知識」㊟と「技能」㊟の２項目に分けて示しています。 ・「技能」において示している材料・用具は教科書紙面に基づくものです。実際に使用する材料や用具に合わせて（中学年以降においては児童の経験を踏まえて）適宜設定してください。 **「思考力、判断力、表現力等」の示し方について** ・〔共通事項〕（１）イを明確に示すため、イメージに関する目標㊟をすべての題材において示しています。 ・各題材において表現と鑑賞の一体化を図るため、「発想や構想」（表現における「思考力、判断力、表現力等」）㊟に関するものと、「鑑賞」（鑑賞における「思考力、判断力、表現力等」）㊟の２項目を示しています。 ・一部の鑑賞の題材においては、表現と関連して指導する場合に配慮し、「発想や構想」（表現における「思考力、判断力、表現力等」）」も示しています。 １・２上巻での「スタート題材」や各巻オリエンテーション題材（授業開き題材）の紙面には、一部の「学習のめあて」のみを示していますが、本資料ではすべての観点を示しています。 ◎＝重点化するめあて（幼小接続題材）
評価規準の例	「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所）を参考に「題材の目標」と対応する形で示しています。 各観点ごとに「おおむね満足できる」状況（B）について示しています。 ※評価の考え方については、教師用指導書「指導解説編」もあわせてご参考ください。
主な学習内容	児童の活動を中心とした授業の流れを示しています。
主な材料・用具	授業で必要な材料や用具を、教師、児童それぞれが準備するものとして示しています。学校や学級の実態に応じて、教師、児童いずれが準備するのかご検討ください。 ここで示していないものであっても、活動をより広げるために用意しておいてもよい材料や用具に関しては、教師用指導書「朱書編」でご確認ください。
関連	幼児期／中学校といった校種間の関連、他教科等との関連、他の題材や教科書における題材ページ以外との関連などを示しています。 関連は一例であり、他にも多様な関連が考えられます。校種間接続や、カリキュラムマネジメントの視点からご参考ください。

p.5-6　見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ　美術作品　★授業びらき題材　1～2　鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知形や色に注目しながら美術作品を見たり絵の具で試したりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。	鑑美術作品や試した絵の具の様子などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで形や色に注目しながら美術作品を見たり絵の具で試したりしながら、よさを味わう活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
見ることや試すことを通して、新しいことを発見したり、発見したことを伝え合って感じ方の違いを感じたりすることに意欲をもつ子ども。	○美術作品を見て見付けたことや感じたことを話し合う。 ○感じたことを基に、絵の具で小さい紙に試す。 ○絵の具で試して感じたこと、考えたことなどを伝え合う。	教師：画用紙、美術作品の拡大掲示資料、モニター など 児童：水彩用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
形や色に注目しながら美術作品を見たり絵の具で試したりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。			形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、美術作品や試した絵の具の様子などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで形や色に注目しながら美術作品を見たり絵の具で試したりしながら、よさを味わう学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
道徳：B　相互理解、寛容 D　感動、畏敬の念	

p.8-9　まどをのぞいて　場所から　2～4　造・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知窓の向こうの景色に形や色を重ねるときの感覚や行為を通して、形や色の組合せや面と面の重なりによる前後の感じなどが分かる。 技色セロハンやお花紙などを適切に扱うとともに、前学年までのセロハンテープなどについての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。	表窓の向こうの景色や材料などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。 鑑材料を組み合わせて様子を変えた窓の向こうの景色などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形や色の組合せや面と面の重なりによる前後の感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで窓の向こうの景色に形や色を重ねて楽しい様子をつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	**主な学習内容**	**主な材料・用具**
見慣れたいつもの景色にある形や色を生かしながらつくりかえることで、新しい価値をつくりだす喜びを感じる子ども。	○窓から景色を見ながら、つくりかえたいところを探す。 ○窓から見える景色を生かして、窓に材料を貼りながら様子を変える。 ○確かめながらつくりかえる。 ○つくりかえた様子を友人と紹介し合い、互いの表現のよさや面白さを味わう。	教師・児童：セロハンテープ など 教師：色セロハン、お花紙、メンディングテープ など 児童：はさみ、タブレット端末 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
窓の向こうの景色に形や色を重ねるときの感覚や行為を通して、形や色の組合せや面と面の重なりによる前後の感じなどが分かっている。	色セロハンやお花紙などを適切に扱うとともに、前学年までのセロハンテープなどについての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	形や色の組合せや面と面の重なりによる前後の感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、窓の向こうの景色や材料などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。	形や色の組合せや面と面の重なりによる前後の感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、材料を組み合わせて様子を変えた窓の向こうの景色などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで窓の向こうの景色に形や色を重ねて楽しい様子をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
道徳：B　友情、信頼	

p.10-11　ねん土の板を立ち上げて　材料や用具から（粘土で）　2～4　立・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知板状にした粘土の形を生かして、大きく立ち上がる形を表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 技のし棒を適切に扱うとともに、前学年までの粘土、切り糸、かきべら、粘土べらなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表粘土を立ち上げながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで板状にした粘土の形を生かして、大きく立ち上がる形を表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	**主な学習内容**	**主な材料・用具**
材料に働きかけ、試行錯誤しながら自らの意思で形を立ち上げたことに自信をもつ子ども。	○用具を使って、粘土を大きく立ち上げることに興味をもつ。 ○板状にした粘土の形を変えたり組み合わせたりして粘土を立たせる。 ○立った粘土の形から思い付いたものを、手と用具の使い方を工夫して表す。 ○友人と互いの作品を見合いながら、よさや面白さを感じ取る。	教師：土粘土、のし棒、たたら板、かきべら、切り糸、粘土べら、粘土板、雑巾 など 児童：汚れてもよい服装 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
板状にした粘土の形を生かして、大きく立ち上がる形を表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	のし棒を適切に扱うとともに、前学年までの粘土、切り糸、かきべら、粘土べらなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、粘土を立ち上げながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで板状にした粘土の形を生かして、大きく立ち上がる形を表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ

p.12-13　絵の具でゆめもよう　材料や用具から　2～4　絵・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知水彩絵の具を使っていろいろな表し方を試して模様の紙をつくって表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 技歯ブラシや網、ストローなどを適切に扱うとともに、前学年までの水彩絵の具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表水彩絵の具で試して感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで水彩絵の具で、いろいろな表し方を試して、模様の紙をつくって表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
試すことが新しい発見につながることの楽しさを感じ、どんどん試したり、他者のしていることに興味をもったりする子ども。	○用具を使うことでいろいろな表し方ができることを知る。 ○試したり、技法を組み合わせたりしながら、いろいろな模様の紙をつくる。 ○友人と見合ったり、気に入ったものをまとめて本にしたりして、よさや面白さを味わう。	教師：画用紙、黄ボール紙、段ボール、片面波段ボール、マーブリングセット、ローラー、ビー玉、トレー、金網、歯ブラシ など 児童：水彩用具一式、はさみ、のりなど 【「もよう図かんをつくったよ」を実践する場合】 教師：色画用紙、段ボール など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
水彩絵の具を使っていろいろな表し方を試して模様の紙をつくって表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。	歯ブラシや網、ストローなどを適切に扱うとともに、前学年までの水彩絵の具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、水彩絵の具で試して感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで水彩絵の具で、いろいろな表し方を試して、模様の紙をつくって表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ

p.14-15　コロコロガーレ　遊ぶもの・仕組みから　工・鑑

～コロコロワールド～　6～8　＊～プログラミングで～については、本項目を参照。

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知ビー玉を転がして楽しく遊ぶものをつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 技段ボールや紙材などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表ビー玉を転がして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んでビー玉を転がして楽しく遊ぶものをつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
自分の意思と見通しをもって材料に働きかけ、何度も試しながら楽しいことを実現しようとする子ども。	○つくった簡単なコースや、段ボール箱の中でビー玉を転がしながら、表したいことを考える。 ○形や色の組合せを考えながらコースをつくる。 ○より楽しくなるようにコースの周りの飾りも考えてつくる。 ○友人と遊びながら、互いの作品のよさや面白さを伝え合う。	教師・児童：ビー玉、身辺材 など 教師：色画用紙、カラー工作用紙、片面波段ボール、カッターナイフ、カッターマット、木工用接着剤、セロハンテープ、両面テープ など 児童：はさみ、のり、ペン、タブレット端末 など 【「プログラミングで」を実践する場合】 教師：プログラミングツールやキット

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
ビー玉を転がして楽しく遊ぶものをつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。	段ボールや紙材などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、ビー玉を転がして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んでビー玉を転がして楽しく遊ぶものをつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
プログラミング	

p.14-15　コロコロガーレ　遊ぶもの・仕組みから　㊗・鑑
～みんなでコロコロコースター～　6～8

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
㊘ビー玉を転がして楽しく遊ぶものをつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 ㊛段ボールや紙材などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	㊥ビー玉を転がして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ㊙遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊀形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んでビー玉を転がして楽しく遊ぶものをつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
自分の意思と見通しをもって材料に働きかけ、何度も試しながら楽しいことを実現しようとする子ども。	○どのようなコースにするか話し合う。 ○土台になる段ボールに色を塗ったり飾ったりする。 ○転がり方や、土台の段ボールやコースの組合せを考えながらつくる。 ○みんなで遊びながら、作品のよさや面白さを伝え合う。	教師・児童：ビー玉、段ボール など 教師：色画用紙、カラー工作用紙、片面波段ボール、カッターナイフ、カッターマット、木工用接着剤、クラフトテープ、セロハンテープ、両面テープ など 児童：はさみ、のり、水彩用具一式、ペン 、タブレット端末 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
ビー玉を転がして楽しく遊ぶものをつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。	段ボールや紙材などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、ビー玉を転がして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んでビー玉を転がして楽しく遊ぶものをつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
プログラミング	

p.18-19　わすれられない気持ち　生活経験から　4～8　㊙・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
㊘生活の中で忘れられないことやそのときの気持ちを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 ㊛水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までの描画材などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	㊥生活の中で感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ㊙自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊀形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで生活の中で忘れられないことやそのときの気持ちを絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
形や色を工夫することで、感じた気持ちに合う表し方ができることを知り、より深く生活を見つめ、心に残っていることを大切にしようとする子ども。	○自分の心に残っていることから、表したいことを考える。 ○そのときの気持ちが表れるように、材料や用具の使い方を工夫しながら表す。 ○友人と作品を見せ合いながら、表したかったことやそのときの気持ちについて伝え合う。	教師：画用紙、色画用紙、コンテ・パステル など 児童：水彩用具一式、クレヨン･パス、ペン、色鉛筆 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
生活の中で忘れられないことやそのときの気持ちを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。	水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までの描画材などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、生活の中で感じたこと､見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで生活の中で忘れられないことやそのときの気持ちを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
国語：A　話すこと・聞くこと B　書くこと	

p.20-21　組んで立ててつなぐんぐん　行為から　造・鑑

～新聞紙で～　2～4

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知棒状の新聞紙をつなぎながら思い付いたことをつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 技棒状の新聞紙を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。	表棒状の新聞紙を組み合わせてできる形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。 鑑棒状の新聞紙をつないだり組み合わせたりしてできた形や場所などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで棒状の新聞紙をつないでつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
細い材料でも、工夫次第で大きな形や複雑な形をつくることができることに喜びを感じ、新しい意味や価値をつくりだそうとする子ども。	○棒状の新聞紙をつなぎ、形をつくっていく活動に意欲をもつ。 ○友人と協力し、アイデアを共有しながら、つくっていく。 ○互いのつくったものを見合い、よさを味わう。	教師・児童：新聞紙 教師：セロハンテープ、マスキングテープ　など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
棒状の新聞紙をつなぎながら思い付いたことをつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	棒状の新聞紙を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、棒状の新聞紙を組み合わせてできる形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、棒状の新聞紙をつないだり組み合わせたりしてできた形や場所などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで棒状の新聞紙をつないでつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
道徳：B　友情、信頼	

p.20-21　組んで立ててつなぐんぐん　行為から　造・鑑

～木のえだで～　2～4

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知木の枝をつなぎながら思い付いたことをつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 技木の枝を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。	表枝や枝を組み合わせてできる形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。 鑑木の枝をつないだり組み合わせたりしてできた形や場所などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで木の枝をつないでつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
細い材料でも、工夫次第で大きな形や複雑な形をつくることができることに喜びを感じ、新しい意味や価値をつくりだそうとする子ども。	○木の枝をつなぎ、形をつくっていく活動に意欲をもつ。 ○友人と協力し、アイデアを共有しながら、つくっていく。 ○互いのつくったものを見合い、よさを味わう。	教師・児童：枝、麻ひも、軍手　など 児童：はさみ　など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
木の枝をつなぎながら思い付いたことをつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	木の枝を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、枝や枝を組み合わせてできる形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、木の枝をつないだり組み合わせたりしてできた形や場所などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで木の枝をつないでつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
道徳：B　友情、信頼	

p.20-21　組んで立ててつなぐんぐん　行為から　造・鑑
～竹ひごやわりばしで～　2～4

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知竹ひごや割り箸をつなぎながら思い付いたことをつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 技竹ひごや割り箸を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。	表竹ひごや割り箸を組み合わせてできる形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。 鑑竹ひごや割り箸をつないだり組み合わせたりしてできた形や場所などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで竹ひごや割り箸をつないでつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	**主な学習内容**	**主な材料・用具**
細い材料でも、工夫次第で大きな形や複雑な形をつくることができることに喜びを感じ、新しい意味や価値をつくりだそうとする子ども。	○竹ひごや割り箸をつなぎ、形をつくっていく活動に意欲をもつ。 ○いろいろな組合せを試しながらつくっていく。 ○互いのつくったものを見合い、よさを味わう。	教師：竹ひご、割り箸、輪ゴム、モール、ビニルタイ　など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
竹ひごや割り箸をつなぎながら思い付いたことをつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	竹ひごや割り箸を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、竹ひごや割り箸を組み合わせてできる形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、竹ひごや割り箸をつないだり組み合わせたりしてできた形や場所などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで竹ひごや割り箸をつないでつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
道徳：B　友情、信頼	

p.24-25　体でかんしょう　美術作品　1～2　鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知全身の感覚を働かせながらポーズをとって身近な美術作品を見たり、感じたことを伝え合ったりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。	鑑身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで全身の感覚を働かせながらポーズをとって身近な美術作品を見たり、感じたことを伝え合ったりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	**主な学習内容**	**主な材料・用具**
全身の感覚を働かせながら対象と関わることで感じることがあることを知り、他者の感じ方や見方の違いに気付き認め合おうとする子ども。	○人物が表現されている美術作品に出会う。 ○ポーズをとったり、様子や形や色などの感じを基に話し合ったりしながら、登場人物が何をしているのか、どのような気持ちなのかを考える。 ○考えたことを発表し合い、見方や感じ方、考え方を広げる。	教師：美術作品の拡大掲示資料、モニター　など 児童：筆記用具、タブレット端末　など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
全身の感覚を働かせながらポーズをとって身近な美術作品を見たり、感じたことを伝え合ったりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。			形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで全身の感覚を働かせながらポーズをとって身近な美術作品を見たり、感じたことを伝え合ったりする学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
体育：F　表現運動系　表現系	・体の形（p.22-23）

p.26-27　ゴムでゴー！ ゴー！ ゆめの乗り物　遊ぶもの・仕組みから　4～8　工・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知ゴムの力を使って、走らせて楽しむ乗り物をつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 技カッターナイフ、接着剤などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表乗り物が走る様子を想像したことや仕組みを動かして感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑乗り物を走らせるなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んでゴムの力を使って、走らせて楽しむ乗り物をつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
生活や他教科での経験や学習を生かしながら、自分の思いをよりよく実現させていくことに喜びを感じる子ども。	○ゴムの力で動く乗り物の仕組みを知り、つくる。 ○仕組みを動かしながら、表したい乗り物を考える。 ○確かめながら、材料や用具を工夫して、自分だけの乗り物をつくる。 ○友人と一緒に乗り物を走らせ、よさや面白さを感じ取る。	教師・児童：空き箱、ペットボトルキャップ など 教師：色画用紙、片面波段ボール、段ボール、輪ゴム、たこ糸、竹ひご、カッターナイフ、カッターマット、きり、木工用接着剤、化学接着剤 など 児童：ペン、はさみ、のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
ゴムの力を使って、走らせて楽しむ乗り物をつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。	カッターナイフ、接着剤などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、乗り物が走る様子を想像したことや仕組みを動かして感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、乗り物を走らせるなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んでゴムの力を使って、走らせて楽しむ乗り物をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
理科：A　物質・エネルギー（2）風とゴムの力の働き	

p.26-27　ゴムでゴー！ ゴー！ ゆめの乗り物　遊ぶもの・仕組みから　工・鑑

～風でゴー！ゴー！～　4～8

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知風の力を使って、走らせて楽しむ乗り物をつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 技カッターナイフ、接着剤などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表乗り物が走る様子を想像したことや仕組みを動かして感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑乗り物を走らせるなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで風の力を使って、走らせて楽しむ乗り物をつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
生活や他教科での経験や学習を生かしながら、自分の思いをよりよく実現させていくことに喜びを感じる子ども。	○風の力で動く乗り物の仕組みを知り、つくる。 ○仕組みを動かしながら、表したい乗り物を考える。 ○確かめながら、材料や用具を工夫して、自分だけの乗り物をつくる。 ○友人と一緒に乗り物を走らせ、よさや面白さを感じ取る。	教師・児童：空き箱、ペットボトルキャップ、身辺材 など 教師：色画用紙、片面波段ボール、段ボール、たこ糸、竹ひご、輪ゴム、カッターナイフ、カッターマット、きり、木工用接着剤、化学接着剤 など 児童：ペン、はさみ、のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
風の力を使って、走らせて楽しむ乗り物をつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。	カッターナイフ、接着剤などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、乗り物が走る様子を想像したことや仕組みを動かして感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、乗り物を走らせるなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで風の力を使って、走らせて楽しむ乗り物をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
理科：A　物質・エネルギー（2）風とゴムの力の働き	

p.28-29　まぼろしの花　想像したことから　4～6　㊫・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
㊫まぼろしの花の世界を表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 ㊫水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	㊫まぼろしの花の世界を想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㋑形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んでまぼろしの花の世界を想像して表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
少しずつ自分の中に広がっていく思いや想像を大切にする子ども。	○「まぼろしの花」という言葉から、自分なりの想像を広げる。 ○球根や種をつくったり、画用紙に色を塗り込んだりしながら、自分の中のまぼろしの花の世界を育てていく。 ○想像したことを基に、材料や用具の使い方を工夫して使い、まぼろしの花の世界を表す。 ○友人と作品を紹介し合いながら、よさや面白さを味わう。	教師：画用紙、段ボール、ローラー、紙粘土 など 児童：水彩用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
まぼろしの花の世界を表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。	水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、まぼろしの花の世界を想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んでまぼろしの花の世界を想像して表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
国語：A　話すこと・聞くこと 　　B　書くこと	

p.30-31　のこぎりギコギコ　材料や用具から　4～6　㊫・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
㊫木を思いのままに切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 ㊫のこぎりを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	㊫木を切ったり組み合わせたりして感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑木を組み合わせてできる形や自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㋑形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで木を思いのままに切ったり組み合わせたりして表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
全身の感覚を働かせながら自然の材料を味わい、新しい用具を扱えるようになることに喜びを感じる子ども。	○のこぎりで木をどんどん切っていく活動に意欲をもつ。 ○のこぎりの安全な使い方を知る。 ○木を思いのままに切っていく。 ○切ってできた形を組み合わせてつくる。 ○互いの作品を見合い、よさを伝え合う。	教師：角材、板材、のこぎり、クランプ、軍手、紙やすり、木工用接着剤 など ※接合する場合は、金づち・釘を用意する。 児童：（水彩用具一式）

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
木を思いのままに切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	のこぎりを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、木を切ったり組み合わせたりして感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、木を組み合わせてできる形や自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで木を思いのままに切ったり組み合わせたりして表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ

p.34-35 おもしろだんボールボックス　飾る・使うもの　4～6　工・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知段ボール箱の形を基に、生活を楽しくする入れ物をつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 技段ボール箱を適切に扱うとともに、前学年までのカッターナイフ、段ボールカッター、接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表段ボール箱の形から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで段ボール箱で生活を楽しくする入れ物をつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
自分の発想や考えを基に表したものを生活の中で活用することで、生活を豊かに楽しくできることに喜びを感じる子ども。	○段ボールの形や開き方、特徴を生かした自分なりの入れ物を考える。 ○材料や用具の使い方を工夫してつくる。 ○実際に使うなどしてよさを味わう。	教師・児童：段ボール箱 など 教師：色画用紙、段ボールカッター、カッターナイフ、カッターマット、木工用接着剤、粘着テープ など 児童：はさみ、のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
段ボール箱の形を基に、生活を楽しくする入れ物をつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。	段ボール箱を適切に扱うとともに、前学年までのカッターナイフ、段ボールカッター、接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、段ボール箱の形から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで段ボール箱で生活を楽しくする入れ物をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
SDGs：11　住み続けられるまちづくりを 12　つくる責任　つかう責任 13　気候変動に具体的な対策を 14　海の豊かさを守ろう 15　陸の豊かさも守ろう	・すてられそうなものがよみがえる（p.32-33）

p.36-37 言葉から感じて　物語などから　4～8　絵・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知詩や物語などから想像を広げて表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 技水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までの描画材などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表詩や物語などに触れて感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで詩や物語などから想像を広げて絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
詩や物語などから、いろいろな様子や雰囲気を思い浮かべながら絵に表すことで、さらに想像を広げることを楽しむ子ども。	○詩や物語などから思い浮かべた様子や感じた雰囲気を話し合う。 ○詩や物語などから想像した様子や感じた雰囲気に合う表し方を考え、絵に表す。 ○互いの表し方の工夫を見付け、ヒントにしながら表現を深める。 ○表した様子や表し方の工夫を味わいながら、友人と互いの作品を鑑賞する。	教師・児童：詩や物語 など 教師：画用紙、色画用紙、コンテ・パステル など 児童：水彩用具一式、ペン など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
詩や物語などから想像を広げて表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。	水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までの描画材などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、詩や物語などに触れて感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで詩や物語などから想像を広げて絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
国語：（3）我が国の言語文化に関する事項 B　書くこと C　読むこと	

p.38-39　きって楽しい きっと使える　飾る・使うもの　4～6　㊝・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知のこぎりで切った木を組み合わせて、生活で使えるものをつくるときの感覚や行為を通して、形や色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 技のこぎりを適切に扱うとともに、前学年までの金づちや釘、木材などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表切った木を組み合わせて感じたことや使うことを想像したことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形や色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んでのこぎりで切った木を組み合わせて、生活で使えるものをつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
自然の材料に触れる楽しさを感じながら使えるものをつくることや、実際に使って生活を豊かにすることに喜びを感じる子ども。	○のこぎりの安全な使い方を知る。 ○つくりたいものを考え、板材や角材を切って、いろいろな形をつくる。 ○切った木を組み合わせながらつくる。 ○材料を組み合わせたり色を塗ったりする。 ○できたものを飾ったり使ったりしてよさを味わう。	教師・児童：身辺材　など 教師：板材、角材、のこぎり、釘、金づち、きり、クランプ、紙やすり、木工用接着剤　など 児童：水彩用具一式　など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
のこぎりで切った木を組み合わせて、生活で使えるものをつくるときの感覚や行為を通して、形や色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。	のこぎりを適切に扱うとともに、前学年までの金づちや釘、木材などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、切った木を組み合わせて感じたことや使うことを想像したことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んでのこぎりで切った木を組み合わせて、生活で使えるものをつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ

p.40-41　光とかげから生まれる形　材料から　造・鑑
～暗い場所で～　2～6

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知材料を組み合わせたり、光の当て方を試したりしながら影の形をつくるときの感覚や行為を通して、形や色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 技光源となるライトや身近な材料を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。	表身近な材料や影の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。 鑑身近な材料を組み合わせて光を当ててできた影などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形や色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで材料の組合せ方や光の当て方を試し、面白い影の形をつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
いつもと違う見方をすることで、新しい見え方を見付け、よりよい見え方をつくりだそうとする子ども。	○影を投影すると面白いと思う材料を持ち寄り、影をつくりながらどのようなことができそうか考える。 ○友人と協力して、できる影の形を確かめながら、材料を組み合わせて活動を工夫する。 ○タブレット端末で撮影するなどして、自分たちのつくった影を発表し合い、互いの表現のよさや面白さを味わう。	教師・児童：容器や身辺材　など 教師：光源（プロジェクタ、LED ライト、懐中電灯など）、スクリーン（ロール紙、白布など）など 児童：タブレット端末　など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
材料を組み合わせたり、光の当て方を試したりしながら影の形をつくるときの感覚や行為を通して、形や色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。	光源となるライトや身近な材料を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	形や色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な材料や影の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。	形や色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な材料を組み合わせて光を当ててできた影などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで材料の組合せ方や光の当て方を試し、面白い影の形をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
理科：A　物質・エネルギー（3）光と音の性質	・光から生まれる形・色（p.42-43）

p.40-41　光とかげから生まれる形　材料から　造・鑑
～明るい場所で～　1～2

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知材料や体の組合せ方を試しながら影の形をつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 技身近な材料を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。	表身近な材料や影の形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形を思い付きながら、どのように活動するかについて考える。 鑑身近な材料や体を組み合わせてできた影などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで材料や体の組合せ方を試し、面白い影の形をつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
いつもと違う見方をすることで、新しい見え方を見付け、よりよい見え方をつくりだそうとする子ども。	○いろいろなものの影を確かめながら、どのようなことができそうか考える。 ○友人と協力して、できる影の形を確かめながら、材料を組み合わせたり体を使ったりして活動を工夫する。 ○タブレット端末で撮影するなどして、自分たちのつくった影を発表し合い、互いの表現のよさや面白さを味わう。	教師：体育用具、傘 など 児童：帽子、タブレット端末 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
材料や体の組合せ方を試しながら影の形をつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	身近な材料を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な材料や影の形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形を思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な材料や体を組み合わせてできた影などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで材料や体の組合せ方を試し、面白い影の形をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
理科：A　物質・エネルギー（3）光と音の性質	・光から生まれる形・色（p.42-43）

p.44-45　光のさしこむ絵　材料や用具から　4～6　絵・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知光を通す材料を組み合わせながら表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 技和紙などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表光を通す材料を組み合わせて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑光を通す材料や自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで光を通す材料を組み合わせて思い付いたことを絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
光によって変わる見え方や感じ方に驚きやワクワクを感じ、さらにつくりかえようと意欲をもつ子ども。	○いろいろな材料に光を通し、光を通すことで見える形や色の面白さを感じる。 ○試しながら、表したいことを見付ける。 ○表したいことに合わせて材料を組み合わせながら表現を深める。 ○友人と互いの作品を、光を通して見合いながら、よさや面白さを味わう。	教師：和紙、お花紙、トレーシングペーパー、色セロハン、刷毛、カッターナイフ、カッターマット、木工用接着剤 など 児童：はさみ、のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
光を通す材料を組み合わせながら表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。	和紙などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、光を通す材料を組み合わせて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、光を通す材料や自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで光を通す材料を組み合わせて思い付いたことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
	・光から生まれる形・色（p.42-43）

p.46-47　幸せを運ぶカード　伝えるもの　4～6　㊞・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知気持ちを伝えるカードを、飛び出す仕組みを使ってつくるときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。 技カッターナイフを適切に扱うとともに、前学年までの紙や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表仕組みを動かして感じたことや、伝えたいことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで飛び出す仕組みを使って気持ちを伝えるカードをつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
相手の気持ちを考えながら、より喜んでもらえるものをつくろうと工夫して表し、自分の気持ちを伝えようとする子ども。	○教科書などを見て飛び出す仕組みを知り、つくる。 ○仕組みを動かしたり、伝えたい相手や伝えたいことを考えたりしながら表したいことを考える。 ○気持ちが伝わるように材料や用具の使い方を工夫して表す。 ○できたカードを友人と見合ったり、相手に渡したりしてよさや工夫を感じ取る。	教師：画用紙、色画用紙、色紙、カッターナイフ、カッターマット、木工用接着剤 など 児童：ペン、色鉛筆、はさみ、のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
気持ちを伝えるカードを、飛び出す仕組みを使ってつくるときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。	カッターナイフを適切に扱うとともに、前学年までの紙や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、仕組みを動かして感じたことや、伝えたいことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで飛び出す仕組みを使って気持ちを伝えるカードをつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
算数：B　図形 道徳：B　感謝　親切、思いやり	

p.48-49　ほってすって見つけて　版に表す　4～8　絵・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知彫刻刀を使って、彫り方を試したり、刷って確かめたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 技彫刻刀を適切に扱うとともに、前学年までの版画の用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表彫刻刀で板を彫って感じたことや、生活の中で感じたことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで彫刻刀を使って、彫り方を試したり、刷って確かめたりしながら版に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
新しい用具や表現方法に触れ、そのよさを味わいながら表現を広げていくことに喜びを感じる子ども。	○彫刻刀の安全な扱いについて知る。 ○板にいろいろな線や形を彫りながら、表したいことを考える。／表したいことを下絵にかき、版木に写して彫る。 ○彫った形を刷って、さらに彫りたすなどして表現を深める。 ○友人と互いの作品を見合って、彫りの工夫や作品のよさや面白さを伝え合う。	教師・児童：新聞紙 など 教師：版木、版画用紙、作業板、版画用具一式、トレーシングペーパー など 児童：彫刻刀 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
彫刻刀を使って、彫り方を試したり、刷って確かめたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	彫刻刀を適切に扱うとともに、前学年までの版画の用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、彫刻刀で板を彫って感じたことや、生活の中で感じたことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで彫刻刀を使って、彫り方を試したり、刷って確かめたりしながら版に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ

p.50-51　ようこそ！　ゆめのまちへ　想像したことから　立・鑑

～小さなまちへ～　4～6

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知段ボールを使ったまちを協力してつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 技段ボール、段ボールカッターなどを適切に扱うとともに、前学年までの水彩絵の具などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表みんなで過ごしたいまちの様子を想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで段ボールを使ったまちを協力してつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
材料に働きかけ、友人と協力しながら、思い付いたつくりたい形に向かって工夫しながら取り組む子ども。	○みんなで協力して夢のまちをつくることを知り、どのようなものがあったら楽しいか考える。 ○段ボールの組合せ方を工夫したり、形を変えたりしながらつくる。 ○思いに合わせて色を塗ったり、形を変えたりする。 ○建物を並べてまちをつくり、みんなで見て回り、よさや面白さを味わう。	教師・児童：段ボール箱 教師：段ボールカッター、粘着テープ、共用の絵の具、ローラー、木工用接着剤　など 児童：はさみ、水彩用具一式　など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
段ボールを使ったまちを協力してつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。	段ボール、段ボールカッターなどを適切に扱うとともに、前学年までの水彩絵の具などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、みんなで過ごしたいまちの様子を想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで段ボールを使ったまちを協力してつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
社会：（4）県内の伝統や文化、先人の働きについて （5）県内の特色ある地域の様子について	

p.50-51　ようこそ！　ゆめのまちへ　想像したことから　立・鑑

～大きなまちへ～　4～6

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知段ボールを使った大きなまちを協力してつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 技段ボール、段ボールカッターなどを適切に扱うとともに、前学年までの水彩絵の具などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表みんなで過ごしたいまちの様子を想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで段ボールを使った大きなまちを協力してつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
材料に働きかけ、友人と協力しながら、思い付いたつくりたい形に向かって工夫しながら取り組む子ども。	○みんなで協力して大きな夢のまちをつくることを知り、どのようなものがあったら楽しいか考える。 ○段ボールの組合せ方を工夫したり、形を変えたりしながらつくる。 ○思いに合わせて色を塗ったり、形を変えたりする。 ○建物を並べてまちをつくり、みんなで見て回り、よさや面白さを味わう。	教師・児童：段ボール箱 教師：段ボールカッター、粘着テープ、共用の絵の具、ローラー、木工用接着剤　など 児童：はさみ　など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
段ボールを使った大きなまちを協力してつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。	段ボール、段ボールカッターなどを適切に扱うとともに、前学年までの水彩絵の具などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、みんなで過ごしたいまちの様子を想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで段ボールを使った大きなまちを協力してつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
社会：（4）県内の伝統や文化、先人の働きについて （5）県内の特色ある地域の様子について	

p.52-53　写真をとったら見えてきた　身の回りのもの　１～２　鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知身の回りにあるものをいつもと違う見方で見て、写真に撮るときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。	鑑身の回りにあるものの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 イ形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで身の回りにあるものをいつもと違う見方で見て、写真に撮りながら、よさや面白さを味わう活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
いつもと違う見方をすることで、新しい見え方を見付け、自分や友人の多様な気付きや感じ方を大切にしようとする子ども。	○身の回りにあるものをいつもとは違った見方で見て、写真を撮る活動に関心をもつ。 ○身近な場所で写真を撮る。 ○撮った写真を見合い、よさや面白さを味わう。	教師：鑑賞作品２枚程度（校内や教室内で事前に撮っておくか、教科書の掲載写真を使用する） 児童：タブレット端末、筆記用具　など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（Ａ表現）	鑑賞（Ｂ鑑賞）	
身の回りにあるものをいつもと違う見方で見て、写真に撮るときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。			形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、身の回りにあるものの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで身の回りにあるものをいつもと違う見方で見て、写真に撮りながら、よさや面白さを味わう学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ